

令和3年度菊舎顕彰会収支決算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

収入の部

単位：円

項目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越	176,471	176,471	0	
会費	500,000	438,000	▲62,000	221人・438口
事業収入	40,000	43,660	3,660	菊舎慕情・図録他
貯金利息	2	2	0	
助成金	20,000	370,000	350,000	田耕振興協議会 20,000円 下関市市民活動支援補助金350,000円
雑収入	3,527	15,000	11,473	寄付
合計	740,000	1,043,133	303,133	

支出の部

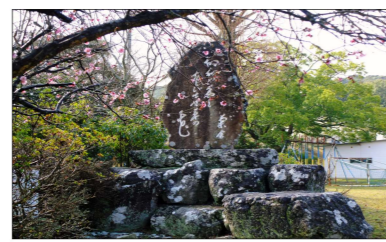
項目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	20,000	14,247	▲5,753	理事会他
事業費	500,000	775,951	275,951	『菊舎のおはなし』制作費他
研修費	25,000	0	▲25,000	
研究費	20,000	35,000	15,000	本制作資料他
事務通信費	150,000	108,978	▲41,022	送料・印刷・事務用品他
交際費	20,000	10,000	▲10,000	本出版祝い
雑費	5,000	3,000	▲2,000	文化協会費
次年度繰越	0	95,957	95,957	
合計	740,000	1,043,133	303,133	

令和4年度活動報告

- 4月1日 会計監査（会長宅）
- 4月2日 理事会（田耕促進センター）
- 5月4日 菊舎顕彰会総会（田耕促進センター）
- 5月13日～22日 菊舎企画展（長府庭園）
- 7月14日 豊北文化祭話し合い（豊北生涯学習センター）林 若代理事 出席
- 10月1日 理事会（田耕促進センター）
- 10月16日 菊舎顕彰俳句大会（田耕促進センター）
- 11月14日 俳句授業（豊北小学校）内田 恒生理事他
- 11月20日 田耕ふれあい祭り参加（田耕促進センター）俳句コーナー
- 1月20日 新春俳句相撲大会（太翔館）豊北小学校5年生出場
- 2月12日 理事会（田耕促進センター）
- 3月25日 理事会（田耕促進センター）



豊北道の駅投句コーナー



菊舎句碑（旧田耕小学校）



新春俳句相撲大会

「菊舎ってすごい！」

榎原ゆうあい会 事務局長 柴田 俊彦

野菜づくりがしたいという妻の後押しで定年後は故郷でくらすことにした。終の住み処で心豊かにすごすこと、U・Iターンが増えて欲しいという願いで榎原ゆうあい会を立ち上げた。同じ志を持った志縁に恵まれ花のまちづくりと地域の宝を学ぶ・学びの郷づくりを十五年続けてきた。新たな知識と多くの出会いに感動を覚えた。

地域の宝には自然や史蹟、歴史上の人物もある。倒木で塞がれていた山道が、大内氏が大陸貿易のために拓いた肥中街道であった。母の菩提寺として榎原に妙栄寺を建立した陶弘詮（一五二三年）は、筑前の守護代を勤め、吾妻鏡を書写するなど文武両道、孝行の人。まさに多刀流であった。多刀流といえば田上菊舎も我が故郷と深い縁のあることを還暦後に先達から学んだ。

地域の宝を大人は勿論、子どもも知り、学ぶ必要がある、たとえ記憶の彼方に霞んでも。昨秋、こども教室で三十二人の児童が「菊舎のおはなし」（菊舎顕彰会編）を読み合った。読後の感想ノートに、むずかしくなかった おもしろかった 菊舎のことを初めて知った 菊舎ってすごい 菊舎のことをもっと知りたいという声があった。子どもたちは知る喜びを覚え、新たな世界を見たいと願っている。

弘詮没後五百年、菊舎生誕二百七十年の今を契機に学びの郷をさらに深化させ、子どもたちがより多くの宝を知り、理解できるよう手助けしたいと思う。

（四ページに写真）



「正現寺の句碑」

顕彰会会員 眞鍋 聡

一昨年（令和三年）の十一月でした。顕彰会の岡顧問から頂いたメールの中に「美東町の正現寺には徳応寺と同じ句の句碑があると聞いています・・・」という語句があり驚きました。私の知る限り菊舎の句碑は下関市内に十一基、長門市に一基、京都府に二基の計十四基でしたが、美東町のもは初耳でした。早速、翌十二月に現地を訪ねてみました。

正現寺さんは真宗の寺には珍しい塔がある由緒のある寺でした。境内に目指す句碑を探してみましたが見当たりません。そのうち山門の右脇に腰掛け石のような大きな石に何か字が彫つてあるのに気づき、これが探していた句碑だとやっと判りました。彫りが浅くて全ては読み取れませんでした。が確かに「雲となる花の父母なり春の雨」の句が書体も徳応寺の句碑とよく似た文字で彫られていました。

後日、ご住職に句碑建立の経緯を電話でお尋ねしたら、この句碑を建立されたのは現住職の祖父であられる山本紅葉師（明治三十九年生れ）で、長府の徳応寺さんと親戚関係にあることと、ご自身が豊北町の寺からご養子に入られているご縁などから昭和五十一年に建てられたものだそうです。

知られざる？句碑の発見に嬉しくなりましたが、惜しいことには一見これが句碑だとわからないことです。簡単な説明板でもあればせつかくの句碑が活きるのですが・・・

なお、正現寺さんには市指定文化財の釈迦如来像や同じく文化財のイヌマキの木などもあります。また、近くの真長田地区にはメタセコイアの並木もあり秋には見事な紅葉も楽しめます。一度是非いらして下さい。

（四ページに写真）